



2012年2月24日

報道関係者各位

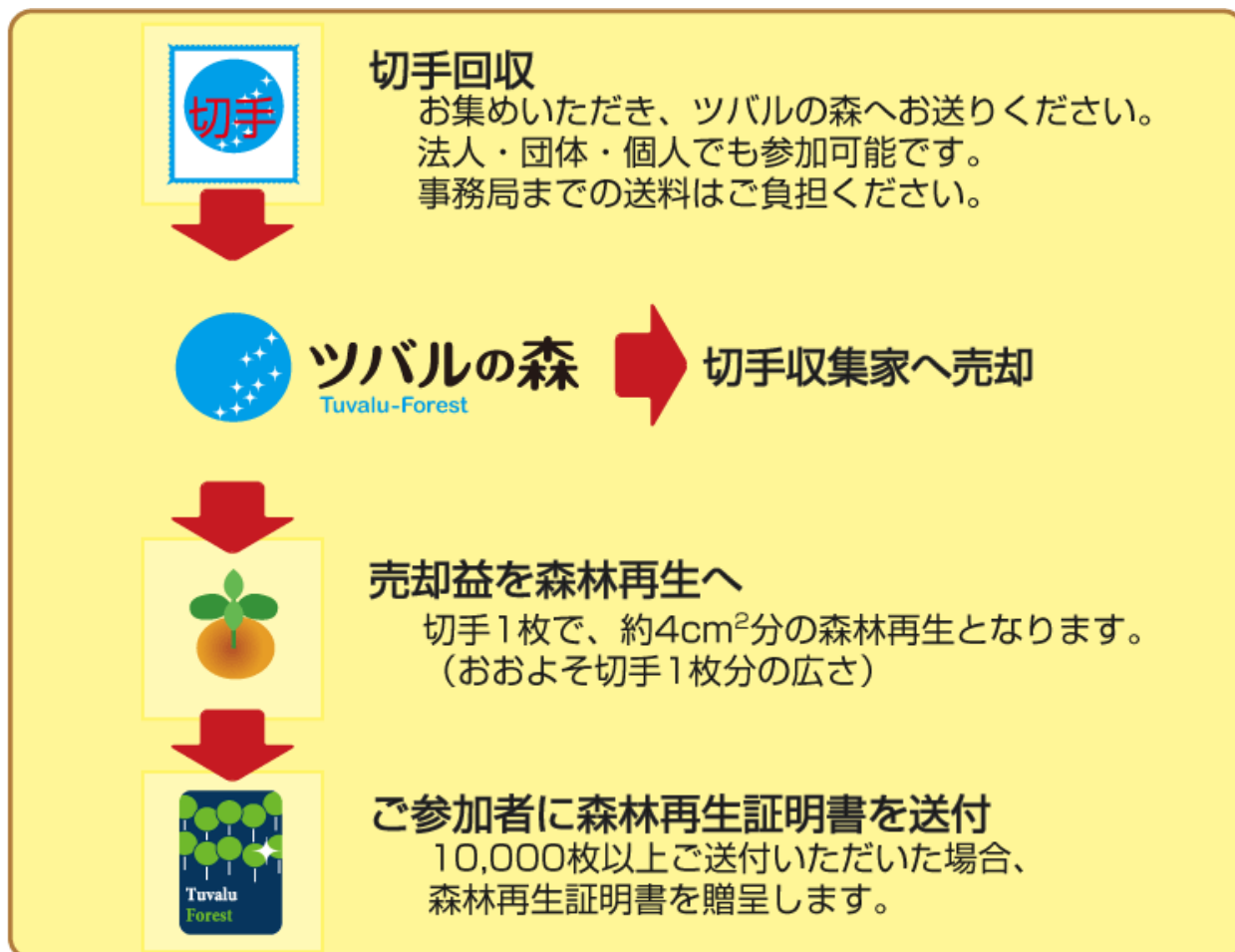
株式会社ツバルの森

一般者参加型のソーシャル・エコ プロジェクト「切手を木にしよう Stamp To Tree」を開始

- ◎一般者参加型のソーシャル・エコ プロジェクト(参加無料)です。
- ◎捨てられてしまう切手を、焼却処分等せずに再利用することで、環境保護にもなります。
- ◎切手1枚で約4cm²分(おおよそ切手1枚分の広さ)の森林再生になり、約8,000枚で木1本分となります。当面は、国内山間部:山梨県を予定しています。

環境コミュニケーション会社である株式会社ツバルの森(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三嶋浩太、以下「ツバルの森」)は、一般者参加型のソーシャル・エコ プロジェクト「切手を木にしよう Stamp To Tree」を2012年3月より本格的に開始することになりましたので、お知らせいたします。

【切手を木にしよう Stamp To Tree】プロジェクト概要



■背景

森林は、国土の保全、水源のかん養、生活環境の保全、保健休養の場の提供、木材などの林産物の供給など、さまざまな機能を持っており、私たちの生活と深く関わっています。近年では、地球温暖化防止に役立つCO₂の吸収源・貯蔵庫といった役割や教育活動の場の提供など、社会からの期待は多様になっています。

日本の森林面積のうち、約40%は人工林が占めていて、人工林とは、主に人の手によって人工的に植林された森林をいいます。植林して木々が育っていく過程で、下草を刈ったり、間伐などを行い、伐採後は再造林を行うなど、人間が継続して手入れをしていく必要のある森林です。しかし、この日本国内の森林は、木を切り出した後植栽を行っていない「無植栽伐採跡地」、木の間引き手入れ等を行っていない「無間伐林」などが発生し、森林地の地権者だけで対応するには負担が重たい状態が発生しております。

ツバルの森の森林再生は、国内の山間部に新たに樹木を植える等、山野の森林をよみがえらせる活動です。今回の森林再生は、山梨県を予定しています。

■ツバルの森で実現した森づくりの一例

トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社様



一般者の皆さまを対象にしたエコツアーを実施



株式会社ワンピシアーカイブズ様



エバラ食品工業株式会社様



朝日新聞グループ企業
朝日トップス株式会社様

■ツバルと切手の関係

弊社の社名の由来であるツバル国は、狭い国土しかなく、目立った産業のない島国で、切手の発行は外貨獲得の手段の一つとして始まり、またそのユニークなデザイン性の高い切手は世界中の切手愛好家達の注目を集めています。本プロジェクトは、ツバルと切手の関係をモチーフに運営しています。

株式会社ツバルの森について

ツバルの森は、「ビジネスとライフスタイルをつうじて、人と地球の未来を創る、パートナー」をビジョンに木々が集まり、森をなすように、一人一人の行動は小さくとも、多く集まれば、その効果も大きくなるよう、生活者・企業など、一人一人が自由に、いろいろな形で、地球とのよりよい未来創りに参加できる手法・サービスを提供していきます。

- 名 称: 株式会社 ツバルの森
- 代 表: 代表取締役社長 三嶋 浩太(みしま こうた)
- 所 在 地: 東京都千代田区飯田橋 4-7-11
- 資 本 金: 2,300 万円
- U R L: <http://www.tuvalu-forest.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ツバルの森 広報担当 TEL. 03-6380-9939 E-mail. pr-ir@tuvalu-forest.com

